

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公表番号】特表 2017-533198 (P2017-533198A)

【公表日】平成 29 年 11 月 9 日 (2017.11.9)

【年通号数】公開・登録公報 2017-043

【出願番号】特願 2017-521118 (P2017-521118)

【国際特許分類】

C 07 C 67/54 (2006.01)

C 07 C 69/54 (2006.01)

【F I】

C 07 C 67/54

C 07 C 69/54 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 16 日 (2019.12.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シクロヘキサノンを含む抽出蒸留溶媒を使用して、抽出蒸留を介して、MMA からメタノールを分離することを含む、プロセス。

【請求項 2】

(a) MMA 及びメタノールを含む送給流が、第 1 の蒸留塔に送給され、(b) シクロヘキサノン溶媒を含む流が、前記第 1 の塔に送給され、(c) 第 1 の底流が、前記第 1 の塔から取り出され、前記第 1 の底流が、主に MMA 及び溶媒を含み、(d) 第 1 のオーバーヘッド流が、前記第 1 の塔から取り出され、前記第 1 のオーバーヘッド流が、主にメタノールを含む、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 3】

(e) 前記第 1 の底流のうちの少なくとも一部分が、第 2 の蒸留塔に送給されるステップと、(f) 第 2 の底流が、前記第 2 の塔から取り出され、前記第 2 の底流が、主に溶媒を含む、ステップと、(g) 第 2 のオーバーヘッド流が、前記第 2 の塔から取り出され、前記第 2 のオーバーヘッド流が、主に MMA を含む、ステップと、(h) 前記第 2 の底流のうちの少なくとも一部が、前記第 1 の蒸留塔にリサイクルされるステップと、をさらに含む、請求項 2 に記載のプロセス。

【請求項 4】

前記第 1 の蒸留塔に送給されるシクロヘキサノン対 MMA のモル比が、3 : 1 ~ 10 : 1、好ましくは 6 : 1 ~ 8 : 1 である、請求項 2 または 3 のいずれかに記載のプロセス。

【請求項 5】

前記第 1 の塔内の圧力が、前記塔の最上蒸気出口において測定される、少なくとも大気圧である、請求項 2、3、または 4 のいずれかに記載のプロセス。

【請求項 6】

前記第 2 の塔内の圧力が、前記塔の最上蒸気出口において測定される、大気圧を下回る、請求項 2 ~ 5 のいずれかに記載のプロセス。

【請求項 7】

前記第 2 の塔の圧力が、250 ~ 700 mmHg (33.3 ~ 93.3 kPa)、好ま

しくは 500 ~ 650 mmHg (66.7 ~ 86.7 kPa) である、請求項 2 ~ 6 のいずれかに記載のプロセス。

【請求項 8】

前記第 2 の塔が、プロセス側及びユーティリティ側を有する再沸器を具備し、前記プロセス側再沸器温度が、130 ~ 160、好ましくは 140 ~ 150 である、請求項 2 ~ 7 のいずれかに記載のプロセス。

【請求項 9】

前記第 1 の底流が、MMA の 100 部あたり、最大 8 重量部のメタノールを含有する、請求項 2 ~ 8 のいずれかに記載のプロセス。

【請求項 10】

(i) 第 3 の蒸留塔において、前記第 2 の底流のうちの少なくとも一部分を蒸留して、前記第 2 の底流が前記第 1 の蒸留塔にリサイクルされる前に、重質分を除去することをさらに含む、請求項 2 ~ 9 のいずれかに記載のプロセス。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

本発明の一実施形態において、パージ流は、固形及び重質分の蓄積を回避するように、プロセスから取り出される。本発明の目的上、「重質分」という用語は、MMA の沸点よりも高い沸点を有するいかなる化合物も意味する。例えば、図 1 において、重質分パージ流（図示せず）は、第 2 の蒸留塔 200 の底流 4 から取り出され得る。かかる実施形態において、流 6 は、パージ流または他の手段を介して失われたいかなる抽出溶媒も置き換えるように、抽出溶媒を提供する、溶媒メイクアップ流である。